



たいじゅ もり  
大樹の森

5月号

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fudomaru/>



## スポーツから得られるもの

校長 山下 謙一郎

校庭に吹く風が爽やかに感じられる季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、いつも学校教育へのご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、今年はオリンピックと並ぶ4年に一度のスポーツの祭典が行われます。サッカーワールドカップカタール大会です。今ではワールドカップの本大会に日本が出場するのは当然のようになってきていますが、この大舞台に日本が出場するまでには実に長い道のりがあり、初めて地区予選に参加してから予選敗退という悔しい思いを実に約40年間も繰り返してきました。その中でも、よく話題に上がるのが1994年のアメリカ大会への出場をかけたアジア最終予選の「ドーハの悲劇」。この試合に勝てば本戦への初出場が決まるという試合でしたが、誰もが日本の勝利を確信した試合終了直前、まさかの同点ゴールを許して試合終了。ほぼ手に入っていたものがスルリとこぼれ落ちた瞬間でした。

それから4年後。「ジョホールバルの歓喜」と呼ばれるマレーシアでの最終予選で、日本は初めてワールドカップ本大会への出場権を手に入れます。この時の試合もとてもスリリングであり、日本中が手に汗を握ってテレビで観戦していたものでした。

さて、サッカーの話をしてきましたが、「スポーツ」にはどんな力があるのでしょうか。文部科学省のホームページには「スポーツは心身の健全な発達を促し、コミュニケーション能力を育成する。スポーツは地域の一体感や活力を醸成する。スポーツは経済的効果を生む。スポーツは国際的友好と親善に資する。」とあります。また、スポーツは自分が楽しむだけでなく、見て楽しむ、さらには支援するなど、多様な関わり方ができます。体を動かす爽快感。目指していた動きができる達成感。健康を保持増進する。楽しさや喜びを感じる。スポーツのもつ意義はとても大きなものがあると言えるでしょう。

学校では、5月28日に運動会を予定しています。走って踊って体を動かし、汗をいっぱい流した後、教室に戻る子どもたちの顔はみんなキラキラと輝いています。「スポーツ」を通して、子どもたちが健やかな成長ができるように支援していきたいと思えます。